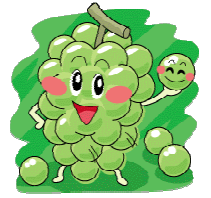


# 普及センター もいおか



第112号平成23年9月26日発行  
盛岡農業改良普及センター  
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎  
TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

## 放射性物質拡大による影響とその対策について

### 【盛岡普及センター管内とその周辺市町村の放射性物質検査結果】

8月以降の盛岡普及センター管内の放射性物質検査結果については、下記のとおりです。

品目	採取日	産地	検査結果	
			ヨウ素	セシウム
小麦	8月8日	紫波町	不検出	不検出
	8月9日	雫石町	不検出	不検出
りんご	8月24日	盛岡市	不検出	不検出
施設栽培 原木生しいたけ	8月30日	矢巾町	不検出	不検出
ねぎ	8月31日	矢巾町	不検出	不検出
ぶどう	8月31日	紫波町	不検出	不検出
米(玄米)	9月8日	紫波町、矢巾町	不検出	不検出
	9月20日	盛岡市、雫石町 滝沢村	不検出	不検出

これまでに検査が行われた当普及センター管内の農産物や飼・肥料については、不検出または暫定許容値を下回っています。

なお、上記以外の市町村の検査結果については、岩手県のホームページに公開していますので、そちらを確認してください。

今後、りんご(晩生種)、ねぎなどの検査を行う予定となっています。

### **野焼きの自粛を！！**



営農に伴う稲わら、刎がら、剪定枝、刈り草、収穫収量後の作物体などについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第16条の2の野外焼却禁止の例外規定となっております。しかし、昨今の放射性物質に関連する汚染問題を考慮して、野外焼却を自粛しましょう。

## より身近な『一発』乾田直播栽培を目指して～やはば腕まくり根っこの会の取り組み～

矢巾町の若手認定農業者で組織される『やはば腕まくり根っこの会』の中のメンバー4名が、より省力で低コストな乾田直播栽培を目指して取り組んでいます。栽培品種はヒメノモチやひとめぼれで、皆同じ体系での乾田直播栽培に取り組んでいます。メンバーが乾田直播栽培に取り組むのは2年目で、昨年は1名のほ場を利用して、レーザーレベラーを用いた乾田直播栽培に取り組みました。その経験から得られた乾田直播のポイントを精査し、今年は『春のほ場作業は一度きり、1工程の作業では場形成・播種・施肥・作溝を同時に行う』という体系に取り組みました。6月には役場や普及センターとともにほ場巡回を行い、雑草対策の検討も行いました。苗立ちが遅れて、除草対策に課題を残したほ場もありましたが、収穫期を迎えた現在は移植栽培と遜色ない生育をしています。今秋の収量が楽しみであるとともに、来年に向けてさらなるレベルアップが期待されます。

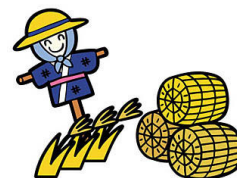


(写真左)

6月のほ場巡回の様子

(写真右)

収量が期待されるほ場



## 秋の農作業安全月間が始まりました 期間：9月15日(木)～11月15日(火)

秋の農繁期を迎え、コンバインやトラクター等農業機械の使用が多くなります。

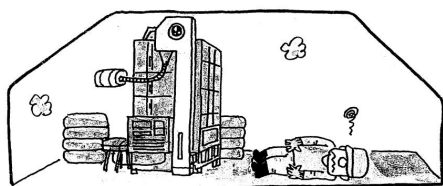
### ○低速車マーク・反射テープを利用しましょう



低速車マーク

日没が早まり、夕方・夜間に農業機械を道路で走行させる場合、追突される危険が高くなります。作業を開始する前に、ライトや反射材の点検を実施しましょう。

### ○穀物乾燥機や飼料用サイロ等での作業では有毒ガス・酸欠に注意。



酸素濃度が低く、炭酸ガス等有毒ガスが充満した閉鎖空間ではガス中毒の危険があります。換気を徹底し、なるべく一人では作業しないでください。

労災保険は労働者の負傷、疾病、障害、死亡などに対して保険給付を行う制度で、農業者も加入できます。万が一の事故に備えて、労災保険に加入しましょう。